

【分配金のお知らせ】

2016年9月27日

野村アセットマネジメント株式会社

「野村米国ハイ・イールド債券投信(通貨選択型)」「毎月分配型」の 2016年9月26日決算の分配金について

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

「野村米国ハイ・イールド債券投信(通貨選択型)」「毎月分配型」の2016年9月26日決算の分配金についてご案内いたします。

今回の決算におきまして、各対象通貨および米国ハイ・イールド債市場の動向と、それに伴う基準価額水準の下落傾向等を勘案し、「米ドルコース」を除く全てのコース(「円コース」、「ユーロコース」、「豪ドルコース」、「ブラジルリアルコース」、「南アフリカランドコース」、「トルコリラコース」、「通貨セレクトコース」および「メキシコペソコース」)の分配金を引き下げることいたしました。

各コースの分配金引き下げに関する詳細な説明は、次ページ以降をご参照ください。

【分配金】(1万口当たり、課税前)

| ファンド | 円コース (毎月分配型) | 米ドルコース (毎月分配型) | ユーロコース (毎月分配型) | 豪ドルコース (毎月分配型) | ブラジルリアルコース (毎月分配型) | 南アフリカランドコース (毎月分配型) | トルコリラコース (毎月分配型) | 通貨セレクトコース (毎月分配型) | メキシコペソコース (毎月分配型) |
|----------------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|-----------------------|------------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 分配金額 (前回決算) | 50円 (70円) | 70円 (70円) | 40円 (60円) | 50円 (70円) | 50円 (70円) | 50円 (80円) | 50円 (80円) | 70円 (100円) | 40円 (60円) |
| 決算日の基準価額 | 8,958円 | 10,449円 | 7,954円 | 6,133円 | 4,248円 | 4,678円 | 4,723円 | 6,552円 | 5,843円 |
| 決算日の基準価額(分配金再投資) (前回決算) | 16,700円 (16,673円) | 18,893円 (18,711円) | 16,083円 (16,081円) | 26,008円 (25,663円) | 23,468円 (22,944円) | 20,748円 (20,046円) | 18,190円 (17,851円) | 13,445円 (13,333円) | 7,160円 (7,463円) |
| 分配金額設定累計 | 6,430円 | 6,450円 | 6,990円 | 16,200円 | 14,900円 | 14,220円 | 11,110円 | 6,830円 | 1,660円 |

- ・ 設定日:各コース(「通貨セレクトコース」、「メキシコペソコース」を除く)は2009年1月28日、「通貨セレクトコース」は2011年10月27日、「メキシコペソコース」は2014年4月22日
- ・ 前回決算:2016年8月25日
- ・ 基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものと計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

——— 上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。 ———

【「毎月分配型」の分配の方針】

原則、毎月25日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。

分配金額は、分配対象額の範囲で委託会社が決定するものとし、原則として利子・配当等収益等を中心に分配を行ないます。ただし、基準価額水準等によっては売買益等が中心となる場合があります。また、毎年1月および7月の決算時には、基準価額水準等を勘案し、上記分配相当額のほか、分配対象額の範囲内で委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。

* コースによっては、投資信託約款上「原則として、利子・配当等収益等を中心に安定分配を行なう」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移すること等を示唆するものではありません。また、基準価額の水準、運用の状況等によっては安定分配とならない場合があるにご留意ください。

分配金は、投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資する場合は、為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

【各コースの分配金引き下げの背景】

円コース（毎月分配型）

今回の決算におきまして、「円コース(毎月分配型)」の分配金を70円から50円に引き下げました。

「円コース(毎月分配型)」の基準価額は、2014年12月30日には10,119円でしたが、2015年は概ね下落基調となった後、2016年初からほぼ横ばいで推移し、2016年9月26日現在8,958円となりました。同期間の騰落率は-11.5%でした。なお、分配金を加味した基準価額(分配金再投資)の同期間の騰落率は3.5%となりました。

一時下落基調であった米国ハイ・イールド債市場の動向や、基準価額水準および基準価額に対する分配金額などを総合的に勘案し、また、信託財産の着実な成長を目指すべく、今回の決算において分配金を引き下げることにしました。

<「円コース（毎月分配型）」の基準価額の推移>



基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したもとして計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【各コースの分配金引き下げの背景】

ユーロコース（毎月分配型）

今回の決算におきまして、「ユーロコース(毎月分配型)」の分配金を60円から40円に引き下げました。

「ユーロコース(毎月分配型)」の基準価額は、2014年12月30日には11,262円でしたが、その後概ね下落基調で推移し、2016年9月26日現在7,954円となりました。同期間の騰落率は-29.4%でした。なお、分配金を加味した基準価額(分配金再投資)の同期間の騰落率は-19.1%となりました。

ユーロ(対円)の為替レートは、2014年末以降、ECB(欧州中央銀行)の金融緩和、政策金利の引き下げなどを背景に下落(円高)しました。

ユーロの短期金利は、2014年末以降低下基調で推移し、2016年8月末現在、-0.4%となりました。

円高ユーロ安や一時下落基調であった米国ハイ・イールド債市場の動向、基準価額水準および基準価額に対する分配金額などを総合的に勘案し、また、信託財産の着実な成長を目指すべく、今回の決算において分配金を引き下げることにしました。

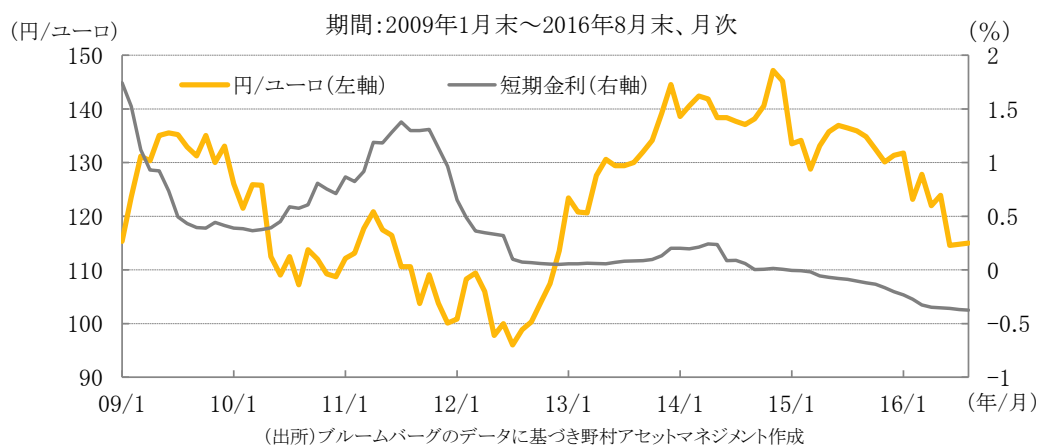
＜「ユーロコース（毎月分配型）」の基準価額の推移＞



基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものとして計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

＜ユーロの為替レート（対円）と短期金利の推移＞



(出所)ブルームバーグのデータに基づき野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【各コースの分配金引き下げの背景】

豪ドルコース（毎月分配型）

今回の決算におきまして、「豪ドルコース(毎月分配型)」の分配金を70円から50円に引き下げました。

「豪ドルコース(毎月分配型)」の基準価額は、2014年12月30日には9,399円でしたが、その後概ね下落基調で推移し、2016年9月26日現在6,133円となりました。同期間の騰落率は-34.7%でした。なお、分配金を加味した基準価額(分配金再投資)の同期間の騰落率は-14.7%となりました。

豪ドル(対円)の為替レートは、2014年末以降、資源価格の下落や中国の景気後退懸念などを背景に下落(円高)しました。

豪ドルの短期金利は、2014年末以降低下基調で推移し、2016年8月末現在、1.6%となりました。

円高豪ドル安や一時下落基調であった米国ハイ・イールド債市場の動向、基準価額水準および基準価額に対する分配金額などを総合的に勘案し、また、信託財産の着実な成長を目指すべく、前回の分配金引き下げ(2016年5月25日決算において100円⇒70円)に続き、今回の決算において分配金を引き下げることにしました。

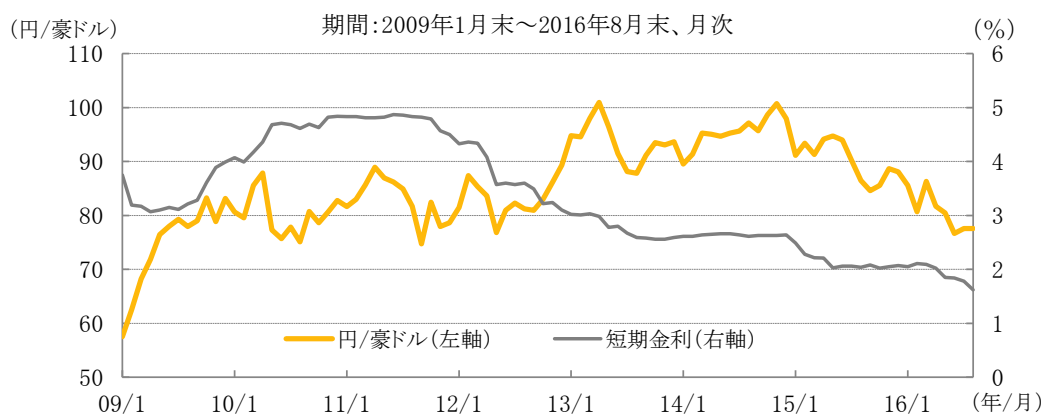
<「豪ドルコース（毎月分配型）」の基準価額の推移>



基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものととして計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

<豪ドルの為替レート（対円）と短期金利の推移>



(出所)ブルームバーグのデータに基づき野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資する場合は、為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

【各コースの分配金引き下げの背景】

ブラジルリアルコース（毎月分配型）

今回の決算におきまして、「ブラジルリアルコース(毎月分配型)」の分配金を70円から50円に引き下げました。

「ブラジルリアルコース(毎月分配型)」の基準価額は、2014年12月30日には7,276円でしたが、その後概ね下落基調で推移し、2016年9月26日現在4,248円となりました。同期間の騰落率は-41.6%でした。なお、分配金を加味した基準価額(分配金再投資)の同期間の騰落率は-11.5%となりました。

ブラジルリアル(対円)の為替レートは、2014年末以降、資源価格の下落や国内の政治的混乱、大手格付会社による格下げなどを背景に下落(円高)しました。

ブラジルリアルの短期金利は、2014年末以降上昇基調で推移し、2016年8月末現在、14.2%となりました。

円高ブラジルリアル安や一時下落基調であった米国ハイ・イールド債市場の動向、基準価額水準および基準価額に対する分配金額などを総合的に勘案し、また、信託財産の着実な成長を目指すべく、前回の分配金引き下げ(2016年5月25日決算において100円⇒70円)に続き、今回の決算において分配金を引き下げることにしました。

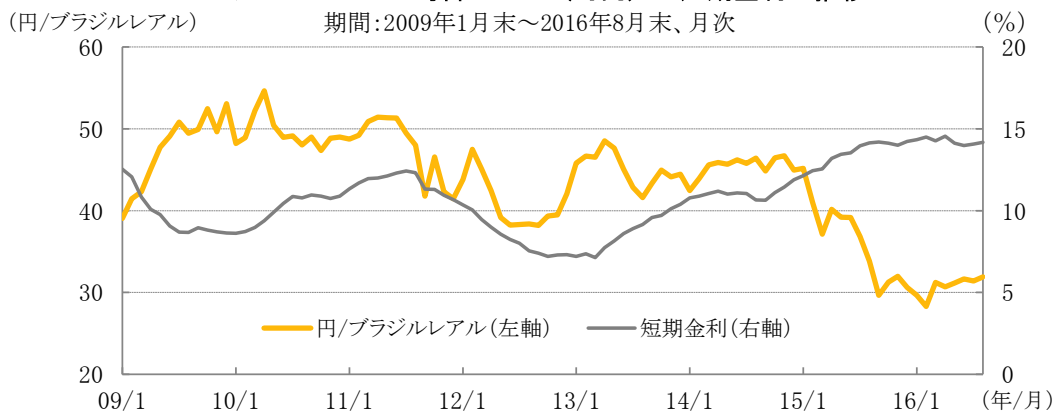
<「ブラジルリアルコース（毎月分配型）」の基準価額の推移>



基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものと計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

<ブラジルリアルの為替レート（対円）と短期金利の推移>



(出所)ブルームバーグのデータに基づき野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資する場合は、為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡する投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

【各コースの分配金引き下げの背景】

南アフリカランドコース（毎月分配型）

今回の決算におきまして、「南アフリカランドコース(毎月分配型)」の分配金を80円から50円に引き下げました。

「南アフリカランドコース(毎月分配型)」の基準価額は、2014年12月30日には8,173円でしたが、その後概ね下落基調で推移し、2016年9月26日現在4,678円となりました。同期間の騰落率は-42.8%でした。なお、分配金を加味した基準価額(分配金再投資)の同期間の騰落率は-17.4%となりました。

南アフリカランド(対円)の為替レートは、2014年末以降、米国の利上げ懸念や資源価格の下落などを背景に下落(円高)しました。

南アフリカランドの短期金利は、2013年7月末以降上昇基調で推移し、2016年8月末現在、7.1%となりました。

円高南アフリカランド安や一時下落基調であった米国ハイ・イールド債市場の動向、基準価額水準および基準価額に対する分配金額などを総合的に勘案し、また、信託財産の着実な成長を目指すべく、前回の分配金引き下げ(2016年5月25日決算において110円⇒80円)に続き、今回の決算において分配金を引き下げることにしました。

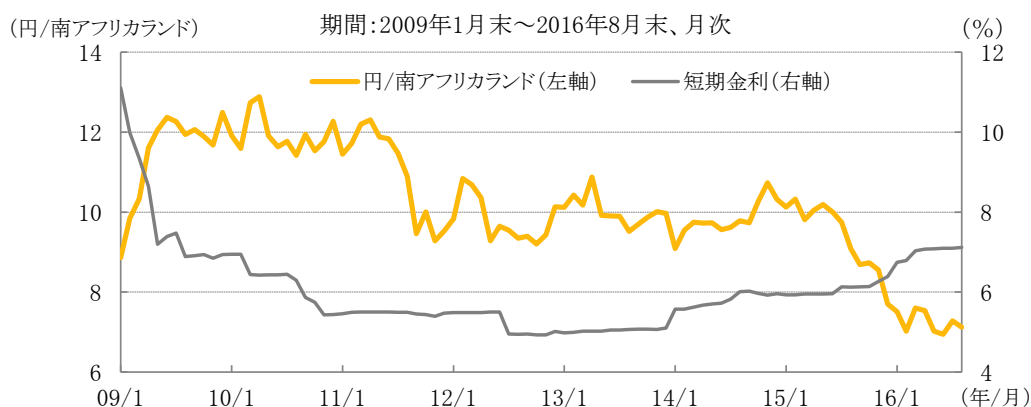
＜「南アフリカランドコース（毎月分配型）」の基準価額の推移＞



基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものととして計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

＜南アフリカランドの為替レート（対円）と短期金利の推移＞



(出所)ブルームバーグのデータに基づき野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資する場合は、為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡す投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

【各コースの分配金引き下げの背景】

トルコリラコース（毎月分配型）

今回の決算におきまして、「トルコリラコース(毎月分配型)」の分配金を80円から50円に引き下げました。

「トルコリラコース(毎月分配型)」の基準価額は、前回分配金引き下げ時(2015年5月25日)には6,947円でしたが、その後概ね下落基調で推移し、2016年9月26日現在4,723円となりました。同期間の騰落率は-32.0%でした。なお、分配金を加味した基準価額(分配金再投資)の同期間の騰落率は-14.1%となりました。

トルコリラ(対円)の為替レートは、前回分配金引き下げ時以降、国内政治リスクの高まりや米国の利上げ懸念などを背景に下落(円高)しました。

トルコリラの短期金利は、2016年初年から下落基調で推移し、2016年8月末現在、8.7%となりました。

円高トルコリラ安や一時下落基調であった米国ハイ・イールド債市場の動向、基準価額水準および基準価額に対する分配金額などを総合的に勘案し、また、信託財産の着実な成長を目指すべく、今回の決算において分配金を引き下げることとしました。

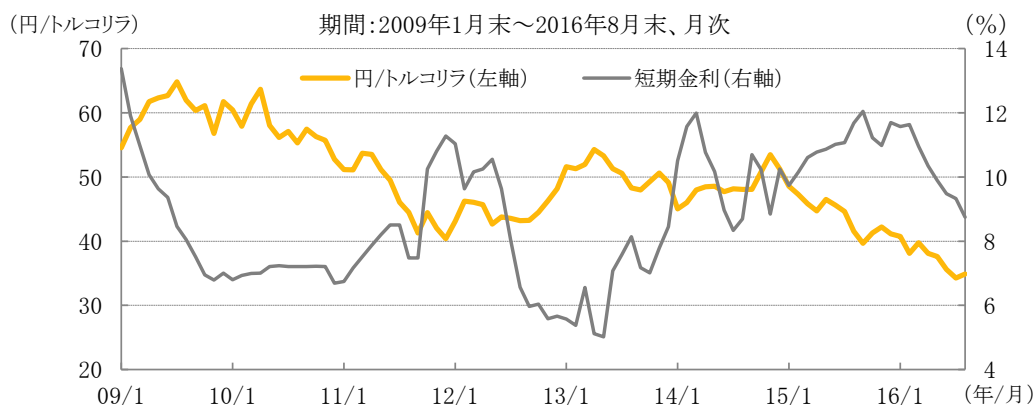
＜「トルコリラコース（毎月分配型）」の基準価額の推移＞



基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものと計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

＜トルコリラの為替レート（対円）と短期金利の推移＞



(出所)ブルームバーグのデータに基づき野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資する場合は、為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡す投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

【各コースの分配金引き下げの背景】

通貨セレクトコース（毎月分配型）

今回の決算におきまして、「通貨セレクトコース(毎月分配型)」の分配金を100円から70円に引き下げました。

「通貨セレクトコース(毎月分配型)」の基準価額は、2014年12月30日には10,571円でしたが、その後概ね下落基調で推移し、2016年9月26日現在6,552円となりました。同期間の騰落率は-38.0%でした。なお、分配金を加味した基準価額(分配金再投資)の同期間の騰落率は-16.5%となりました。

選定通貨(対円)の為替レートは、2014年末以降、米国の利上げ懸念や資源価格の下落、中国の景気後退懸念などを背景に下落(円高)しました。

選定通貨の短期金利は、2013年4月末以降上昇基調で推移し、2016年8月末現在、8.4%となりました。

選定通貨に対する円高や一時下落基調であった米国ハイ・イールド債市場の動向、基準価額水準および基準価額に対する分配金額などを総合的に勘案し、また、信託財産の着実な成長を目指すべく、前回の分配金引き下げ(2016年5月25日決算において120円⇒100円)に続き、今回の決算において分配金を引き下げることとしました。

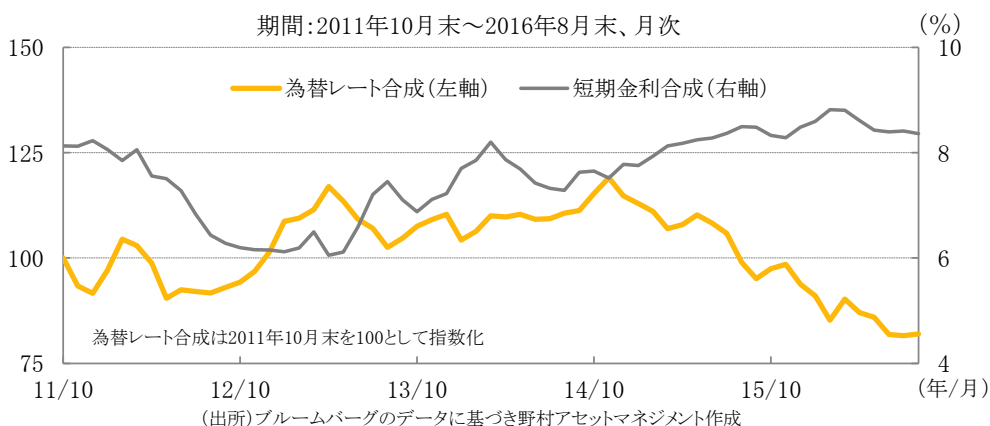
＜「通貨セレクトコース（毎月分配型）」の基準価額の推移＞



基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものととして計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

＜選定通貨（対象5通貨）の為替レート（対円）と短期金利*の推移＞



※通貨セレクトコースの2016年9月時点の選定通貨の基本配分比率(南アフリカランド15%、インドルピー20%、トルコリラ15%、ブラジルリアル25%、メキシコペソ25%)に基づき、合成した為替レートおよび短期金利

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資する場合は、為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

【各コースの分配金引き下げの背景】

メキシコペソコース（毎月分配型）

今回の決算におきまして、「メキシコペソコース(毎月分配型)」の分配金を60円から40円に引き下げました。

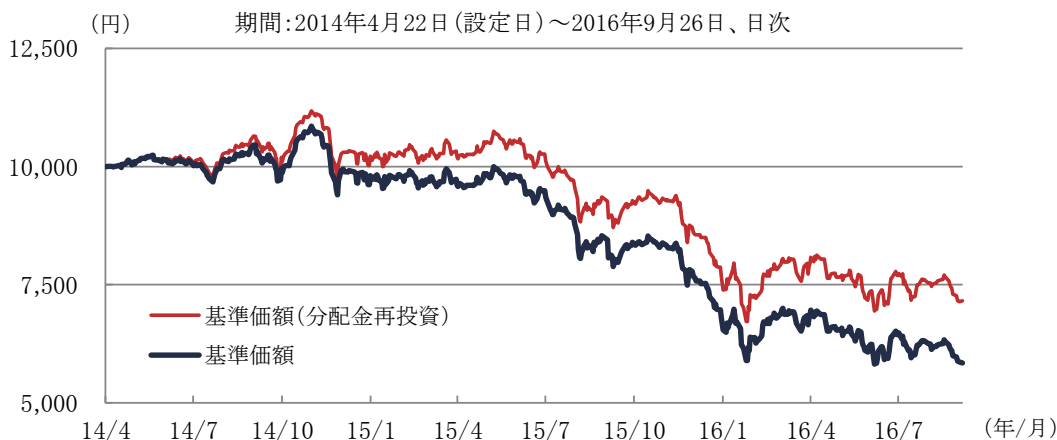
「メキシコペソコース(毎月分配型)」の基準価額は、2014年12月30日には9,914円でしたが、その後概ね下落基調で推移し、2016年9月26日現在5,843円となりました。同期間の騰落率は-41.1%でした。なお、分配金を加味した基準価額(分配金再投資)の同期間の騰落率は-30.7%となりました。

メキシコペソ(対円)の為替レートは、2014年末以降、原油価格の下落や米国の利上げ懸念などを背景に下落(円高)しました。

メキシコペソの短期金利は、2016年初から上昇基調で推移し、2016年8月末現在、4.3%となりました。

円高メキシコペソ安や一時下落基調であった米国ハイ・イールド債市場の動向、基準価額水準および基準価額に対する分配金額などを総合的に勘案し、また、信託財産の着実な成長を目指すべく、今回の決算において分配金を引き下げることにしました。

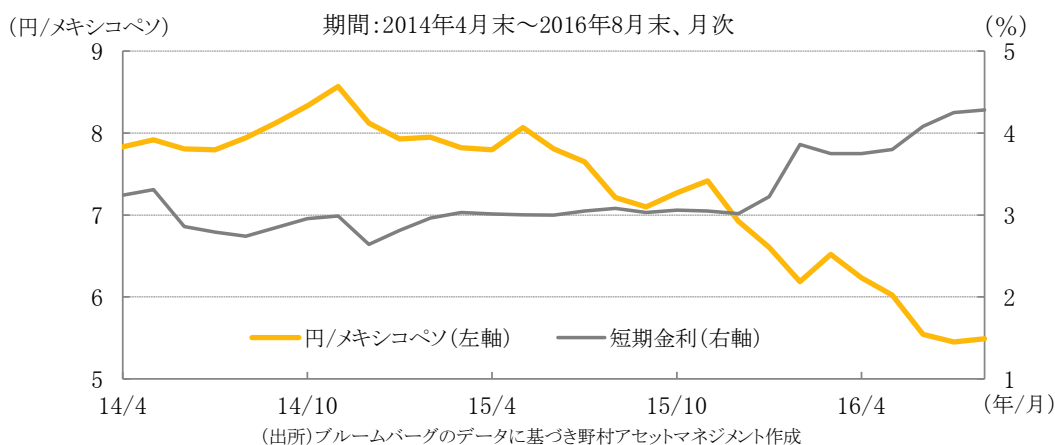
＜「メキシコペソコース（毎月分配型）」の基準価額の推移＞



基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものととして計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

＜メキシコペソの為替レート（対円）と短期金利の推移＞



上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【投資環境と今後の見通し】

米国ハイ・イールド債市場について

●ここまでの投資環境

ファンドが実質的に投資対象とする米国ハイ・イールド債(BB～B格)^{*}のパフォーマンスは、2015年半ばから2016年初にかけて下落する局面もありましたが、概ね堅調に推移しました。

2015年6月～2016年2月中旬まで、下落が続く

2015年6月以降は、原油価格の下落、ギリシャのデフォルト、中国の景気減速懸念などを背景に世界経済の先行きに対する警戒感が高まったことから米国ハイ・イールド債は下落基調となりました。2015年12月に米金融当局が利上げを決定したことや原油価格がさらに下落し、金融市場の混乱が継続したことから、2016年に入っても、当初は下落しました。

2016年2月中旬以降、足元で反発

2月中旬以降、原油価格が回復したことや米国の利上げが緩やかなペースになるとの観測が広がったことなどから、世界経済の先行きに対する不透明感が後退し、反発しました。その後、英国のEU離脱問題を背景とした投資家のリスク回避的な動きから、米国ハイ・イールド債が一時的に下落する局面もありましたが、足元は再び反発基調となっています。

●今後の見通し

米国ハイ・イールド債市場は、堅調な米国経済や、相対的に低水準であるエネルギー価格に支えられ、また利回りも引き続き魅力的な水準にあることから、今後も良好なリターンを提供すると考えています。

原油価格の回復と、米国経済への内需面での期待

原油価格は昨年後半から下落が続いていましたが反発し始めています。米国の原油・天然ガスのリグ(掘削装置)の稼働数は直近ピークから大幅減となっており、減産による需給調整の動きが進みつつあることから、今後も原油価格は堅調に推移すると予想されます。

また、相対的に低水準であるエネルギー価格や雇用環境の改善から消費者の可処分所得は上昇しており、米国経済は内需を中心に底堅く推移しています。

以上から米国ハイ・イールド債券市場を取り巻く環境は以前よりも、問題点が解消・改善されていると、見るができます。

米国ハイ・イールド債の魅力的な利回りの高さ

2016年2月中旬以降、米国ハイ・イールド債券市場は反発してきましたが、足元の利回りや対米国国債のスプレッド(利回り格差)水準は相対的に高く、過去と比較しても依然として割安感があります。

米国以外の先進国である日本や欧州ではマイナス金利政策が導入され、当面は先進国で低金利環境の継続が予想される中、米国ハイ・イールド債券の利回りは5%を超える水準にあります(2016年8月末現在)。市場でも相対的に高い利回りに注目した資金流入が続いており、需給面から米国ハイ・イールド債市場を押し上げる動きが見られます。こうした背景から、今年度の米国ハイ・イールド債市場は底堅く推移するものと考えています。

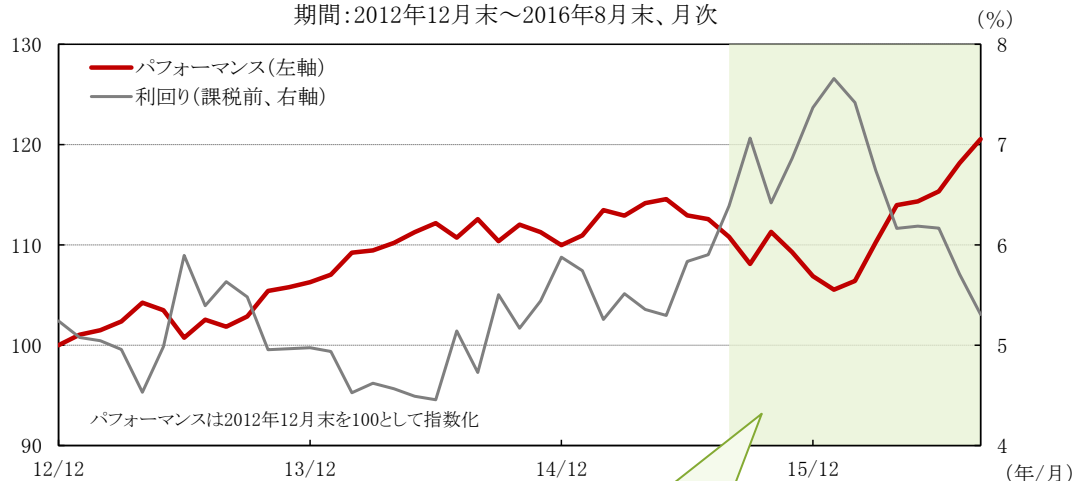
^{*} BofA・メリルリンチ・US ハイ・イールド・キャッシュ・ペイ・BB-B レイテッド・コンストレインド・インデックス

【投資環境と今後の見通し】

米国ハイ・イールド債市場について

＜米国ハイ・イールド債（BB～B格）のパフォーマンスと利回りの推移＞

期間：2012年12月末～2016年8月末、月次



期間：2015年8月31日～2016年8月31日、日次



米国ハイ・イールド債 (BB～B格) (米ドル建て) : BofA・メリルリンチ・US ハイ・イールド・キャッシュ・ペイ・BB-B レイティド・コンストレインド・インデックス
(出所)ブルームバーグのデータに基づき野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。
また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料で使用した金利・市場指数について

【各通貨の短期金利】

●ユーロ:1ヵ月LIBOR、●豪ドル:銀行手形1ヵ月、ブラジルレアル:国債1ヵ月、南アフリカランド:ヨハネスブルグ・インターバンク・アグリド・レート1ヵ月、トルコリラ:インターバンク・オファー・レート1ヵ月、メキシコペソ:T-Bill1ヵ月、インドルピー:インターバンク・オファー・レート1ヵ月

【市場指数】

●BofA・メリルリンチ・US ハイ・イールド・キャッシュ・ペイ・BB-Bレイティド・コンストレインド・インデックスは、バンクオブアメリカ・メリルリンチが算出する指数です。BofA・メリルリンチ米国10年国債インデックス(BofA Merrill Lynch US Treasury, Current 10 year Index)は、バンクオブアメリカ・メリルリンチが算出する、米国10年国債のパフォーマンスを表す代表的な指数です。当該指数に関する一切の知的財産権その他一切の権利はバンクオブアメリカ・メリルリンチに帰属しております。●シテイ1ヵ月豪ドルユーロデポジットは、Citigroup Index LLCの知的財産であり、指数の算出、数値の公表、利用など指数に関するすべての権利は、Citigroup Index LLCが有しています。●JP モルガン・エマージング・ローカル・マーケット・インデックス・プラス (JP Morgan Emerging Local Markets Index Plus)は、J.P.Morgan Securities LLCが公表している現地通貨建てのエマージング・マネー・マーケットを対象としたインデックスであり、その著作権および知的財産権は同社に帰属します。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資する場合は、為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡する投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

【今後の見通し】

高金利通貨について

豪ドル

中国経済の安定化や資源価格の底打ちが豪州経済を下支えすることが期待されます。一方、RBA(豪州準備銀行)は5月、8月に利下げに踏み切ったものの、9月のRBA総裁の交代や物価の鈍化基調を受けて、追加の利下げ観測が高まる可能性には注意が必要と見えています。

【今後の注目点】

- ✓ 資源需要と価格の動向 (中国向けの鉄鉱石などの輸出に大きく依存)
- ✓ 経済の資源依存からの脱却の兆しがみられるか (足元では雇用情勢は大幅に改善)

ブラジルリアル

財政再建の遅れ、景気の低迷、インフレの高止まりなど依然として多くの問題を抱えている一方、経常赤字の縮小が見られるなど対外脆弱性が改善傾向である点を評価しています。足元ではルセフ元大統領の失職が決定し、テメル新政権が財政健全化を推し進められるか否かに注目が集まっており、状況を注視しています。

【今後の注目点】

- ✓ 財政健全化路線が進められるか
- ✓ 経済成長率や物価上昇率、経常収支が反転するか (経常収支には改善の兆し)
- ✓ テメル新政権の政策動向

南アフリカランド

インフレ圧力を抑制するため、中銀が金融引き締め姿勢を継続している点を評価しています。足元の資源価格の反発が交易条件の改善につながると考えられる一方、電力の供給不足が成長の下押し圧力となる点や政治的な混乱を注視しています。

【今後の注目点】

- ✓ 経済成長の低迷に改善の兆しがみられるか (電力不足や労働争議の深刻化が成長の制約に)
- ✓ 資源需要と価格の動向 (プラチナ、金、鉄鉱石などの輸出に大きく依存)

トルコリラ

エネルギーの大部分を輸入に頼る同国にとって、低水準の原油価格が経常赤字の縮小などをもたらすなど一部の経済指標が改善を見せています。一方、クーデター未遂事件の実体経済への波及、国内の治安情勢や周辺地域情勢の悪化などに注意しています。

【今後の注目点】

- ✓ 高水準の物価上昇率や経常赤字の改善が継続するか
- ✓ 政治リスクや地政学的リスクの動向 (クーデター未遂事件の影響や治安情勢、周辺地域情勢の悪化に注意)

メキシコペソ

原油価格の下落が同国経済の下押し圧力となる点に留意する一方、米国経済との関連の強さや、政府の構造改革へのコミットメントに加えて、米国の利上げや通貨安から波及するインフレ期待抑制を意識した金融政策や為替介入による通貨下支えの方針を示している点を評価しています。

【今後の注目点】

- ✓ 経済成長の加速がみられるか (米国向け輸出が堅調のわりに経済活動は低調)
- ✓ 利上げの継続性 (通貨安から波及するインフレ上昇リスクを当局は注視)

【今後の見通し】

高金利通貨について

インドルピー

インフレ率の低下や経常赤字の減少、外貨準備の積み増しなど同国のファンダメンタルズの改善が見込まれています。通貨の下落リスクは限定的であると考えている一方で、新興国通貨高の局面では緩やかな上昇にとどまると考えているほか、パテル中銀新総裁の金融政策運営を注視しています。

【今後の注目点】

- ✓ 経済改革姿勢の継続（一段の規制緩和や一般消費税の導入など）
- ✓ 物価や経常収支の改善状態が維持されるか

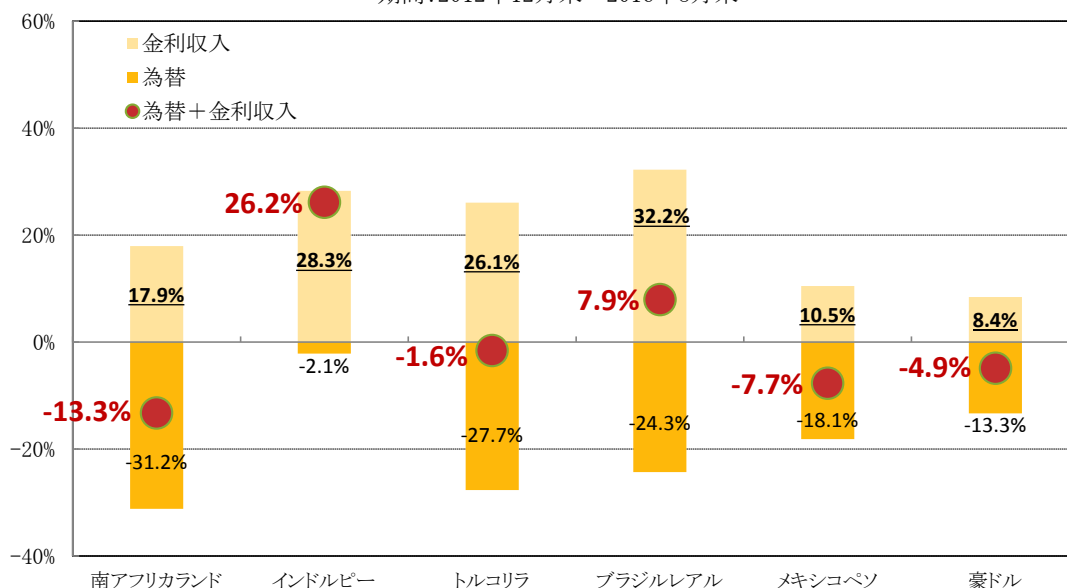
【ご参考】 高金利通貨の金利収入の中長期的な効果

以下のグラフは、当ファンドの投資対象である主な高金利通貨における2012年12月末から2016年8月末までの為替と金利収入のリターンの効果を示したものです。同期間では全ての通貨が対円で軟調な動きとなり、為替のみのリターンではマイナスとなりました。しかし、高金利通貨の高い金利収入を含めることでマイナス幅が減少し、トータルではプラスになった通貨もあったことが分かります。

そして、以下に示した各通貨の金利は足元で概ね上昇し相対的に高い水準となっており、高金利通貨の金利収入が、中長期的なリターンに対しより強く寄与できる環境になっています。

<通貨の金利収入を含めた為替のリターン（対円）>

期間：2012年12月末～2016年8月末



豪ドル以外の金利収入を含めた為替のリターンは、JPモルガン・エマージング・ローカル・マーケット・インデックス・プラスの各サブインデックスを使用しています。同インデックスは新興国の短期金融市場の収益率を表す指数で、主に為替のフォワード取引やNDF取引等をもとに算出されています。

豪ドルの金利収入を含めた為替のリターンは、シティ1ヵ月豪ドルユーロデポジットを使用しています。同インデックスは豪州の短期金融市場の収益率を表す指数です。

四捨五入しているため、表記の数値が合わない場合があります。

(出所)ブルームバーグのデータに基づき野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。
また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【ご参考】

金利上昇局面で堅調な米国ハイ・イールド債

米国では、FRB(米連邦準備制度理事会)が政策金利の引き上げに踏み切るとの観測が高まっています。金利上昇局面において米国ハイ・イールド債(BB~B格)は、米国長期国債と比べ、高いリターンを上げました。

市場金利上昇局面におけるパフォーマンス (米ドルベース)

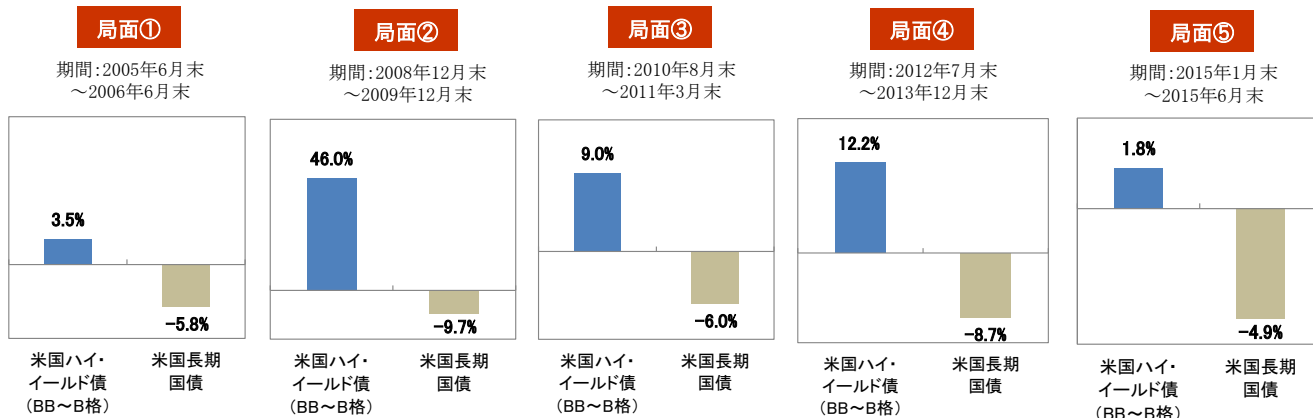
＜米国国債利回りと米国政策金利の推移＞

期間:2004年4月末～2016年8月末、月次



各局面は、米国10年国債利回りが、最低値からその後の最高値まで0.5%以上上昇した局面を指します。2008年12月16日～2015年12月15日の政策金利は0-0.25%ですが、グラフ上(2008年12月末～2015年11月末)では0.25%、また2015年12月16日以降は0.25-0.5%ですが、グラフ上(2015年12月末以降)では0.5%としています。

＜局面①～⑤の各資産騰落率＞



米国政策金利: フェデラルファンドレート(FF金利)の誘導目標値、米国10年国債利回り: ブルームバーグ・ジェネリック、米国ハイ・イールド債(BB~B格): BofA・メルリンチ・USハイ・イールド・キャッシュ・ペイ・BB-Bレイトド・コンストレインド・インデックス、米国長期国債: BofA・メルリンチ米国10年国債インデックス

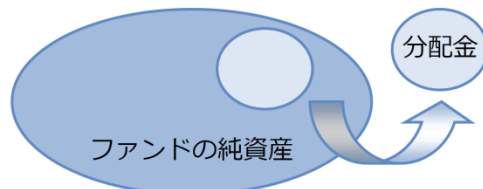
(出所)ブルームバーグのデータに基づき野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資する場合は、為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡す投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

分配金に関する留意点

- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。



- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。

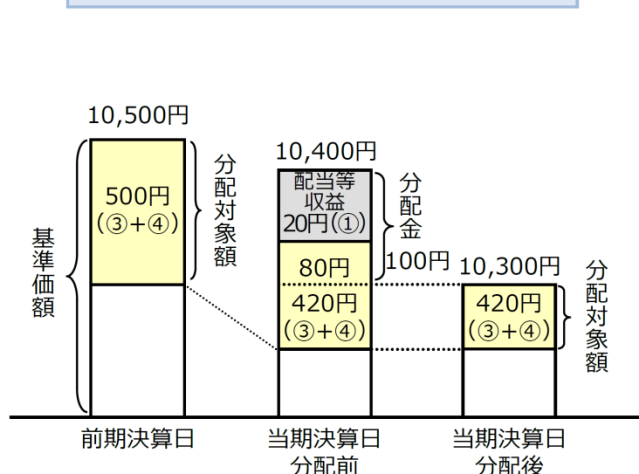
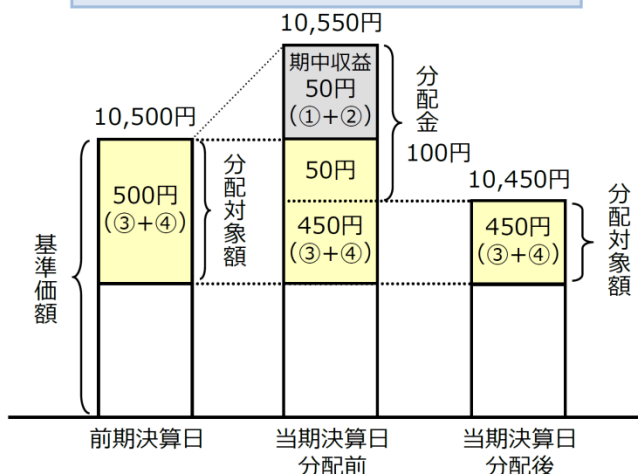
- ・ 計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

※分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

分配対象額とは、①経費控除後の配当等収益②経費控除後の評価益を含む売買益③分配準備積立金④収益調整金です。

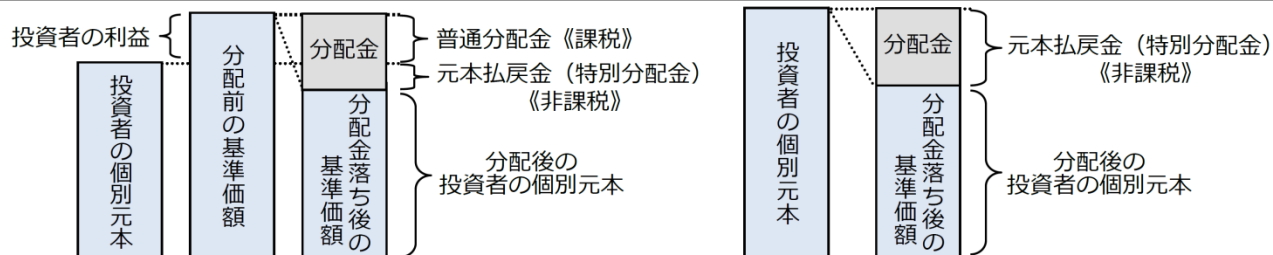
前期決算から基準価額が上昇した場合

前期決算から基準価額が下落した場合



- 投資者の個別元本（追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本）の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

- ◇ 普通分配金 … 分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本と同額の場合または投資者の個別元本を上回っている場合には分配金の全額が普通分配金となります。
- ◇ 元本払戻金（特別分配金） … 分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となります。



※投資者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、分配金発生時にその個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の投資者の個別元本となります。

（注）普通分配金に対する課税については、投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

上記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額について示唆、保証するものではありません。

《ファンドの特色》

野村米国ハイ・イールド債券投信(通貨選択型) 毎月分配型/年2回決算型

- 「野村米国ハイ・イールド債券投信(通貨選択型)」は、19本のファンド(「毎月分配型」と「年2回決算型」を有する、為替取引手法の異なる9つのコース(円コース、米ドルコース、ユーロコース、豪ドルコース、ブラジルリアルコース、南アフリカランドコース、トルコリラコース、通貨セレクトコース、メキシコペソコース)およびマネープールファンド(年2回決算型))から構成されています。
- 各コース(マネープールファンドを除く9つのコースを総称して「各コース」といいます。)
 - ◆高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行いません。
 - ◆米ドル建ての高利回り事業債(ハイ・イールド・ボンド)を実質的な主要投資対象*とします。
※「実質的な主要投資対象」とは、外国投資信託や「野村マネー マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
 - ◆円建ての外国投資信託「ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド」および国内投資信託「野村マネー マザーファンド」を投資対象とします。

・「ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド」には、為替取引手法の異なる9つのクラスがあります。

| 各コース | 各コースが投資対象とする外国投資信託の為替取引手法 |
|-----------------------------------|---|
| 円コース (毎月分配型) / (年2回決算型) | 米ドル建て資産を、原則として対円で為替ヘッジを行いません。 |
| 米ドルコース (毎月分配型) / (年2回決算型) | 米ドル建て資産について、原則として対円で為替ヘッジを行いません。 |
| ユーロコース (毎月分配型) / (年2回決算型) | 米ドル建て資産について、原則として米ドルを売り、ユーロを買う為替取引を行いません。 |
| 豪ドルコース (毎月分配型) / (年2回決算型) | 米ドル建て資産について、原則として米ドルを売り、豪ドルを買う為替取引を行いません。 |
| ブラジルリアルコース (毎月分配型) / (年2回決算型) | 米ドル建て資産について、原則として米ドルを売り、ブラジルリアルを買う為替取引を行いません。 |
| 南アフリカランドコース (毎月分配型) / (年2回決算型) | 米ドル建て資産について、原則として米ドルを売り、南アフリカランドを買う為替取引を行いません。 |
| トルコリラコース (毎月分配型) / (年2回決算型) | 米ドル建て資産について、原則として米ドルを売り、トルコリラを買う為替取引を行いません。 |
| 通貨セレクトコース (毎月分配型) / (年2回決算型) | 米ドル建て資産について、原則として米ドルを売り、選定通貨*(米ドルを除く)を買う為替取引を行いません。 |
| メキシコペソコース (毎月分配型) / (年2回決算型) | 米ドル建て資産について、原則として米ドルを売り、メキシコペソを買う為替取引を行いません。 |

*選定通貨は、投資対象とする外国投資信託の副投資顧問会社が選定した通貨を指します。
詳細は、交付目録見書の「各コースが投資対象とする外国投資信託の概要」の投資方針をご覧ください。

- ◆通常状況においては、「ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド」への投資を中心とします*が、投資比率には特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびにファンドの資金動向等を勘案のうえ決定することを基本とします。
※通常状況においては、「ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド」への投資比率は、概ね90%以上を目処とします。

- ◆各コースはファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。

●マネープールファンド

- ◆安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行いません。
- ◆円建ての短期有価証券を実質的な主要投資対象*とします。
※「実質的な主要投資対象」とは、「野村マネー マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
- ◆「野村マネー マザーファンド」への投資を通じて、残存期間の短い公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資により利息等収益の確保を図り、あわせてコール・ローンなどで運用を行なうことで流動性の確保を図ります。
- ◆ファンドは「野村マネー マザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。

- 「野村米国ハイ・イールド債券投信(通貨選択型)」を構成する「毎月分配型」のファンド間および「年2回決算型」のファンド間でスイッチングができます。

●分配の方針

◆毎月分配型

原則、毎月25日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行いません。
分配金額は、分配対象額の範囲で委託会社が決定するものとし、原則として利子・配当等収益等を中心に分配を行いません。ただし、基準価額水準等によっては売買益等が中心となる場合があります。また、毎年1月および7月の決算時には、基準価額水準等を勘案し、上記分配相当額のほか、分配対象額の範囲内で委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。
※コースによっては、投資信託約款上「原則として、利子・配当等収益等を中心に安定分配を行なう」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものであることや基準価額が安定的に推移すること等を示唆するものではありません。また、基準価額水準、運用の状況等によっては安定分配とならない場合があることにご留意下さい。

◆年2回決算型

・各コース

原則、毎年1月および7月の25日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行いません。
分配金額は、分配対象額の範囲で、原則として利子・配当等収益等および基準価額水準等を勘案して委託会社が決定するものとします。

・マネープールファンド

原則、毎年1月および7月の25日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行いません。
分配金額は、原則として基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。

*委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先：野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ ☎ 0120-753104

(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時



★インターネットホームページ★

<http://www.nomura-am.co.jp/>



★携帯サイト★

<http://www.nomura-am.co.jp/mobile/>

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものとあり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資する場合は、為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

◀投資リスク▶

各ファンド(「マネープールファンド(年2回決算型)」を除く)は、投資信託証券への投資を通じて、債券等に実質的に投資する効果を有しますので、金利変動等による当該債券の価格下落や、当該債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

「マネープールファンド(年2回決算型)」は、債券等を実質的な投資対象としますので、金利変動等による組入債券の価格下落や、組入債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 平成31年1月27日まで

| | |
|--|---------------|
| 円コース、米ドルコース、ユーロコース、豪ドルコース、ブラジルレアルコース、南アフリカランドコース、トルコリラコース、マネープールファンド | 平成21年1月28日設定 |
| 通貨セレクトコース | 平成23年10月27日設定 |
| メキシコペソコース | 平成26年4月22日設定 |
- 決算日および収益分配 【毎月分配型】年12回の決算時(原則、毎月25日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。【年2回決算型】年2回の決算時(原則、1月および7月の25日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌々営業日の基準価額
- ご購入単位 1万口以上1万口単位(当初元本1口=1円)
または1万円以上1円単位
なお、マネープールファンドは、年2回決算型の他のファンドからのスイッチング以外によるご購入はできません。
※ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 【各コース】ご換金申込日の翌々営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- スイッチング 【マネープールファンド】ご換金申込日の翌々営業日の基準価額「毎月分配型」のファンド間および「年2回決算型」のファンド間でスイッチングが可能です。
※販売会社によっては、一部または全部のスイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- お申込不可日 各コースは、販売会社の営業日であっても、申込日当日あるいは申込日の翌営業日が、下記のいずれかの休業日に該当する場合または12月24日である場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。
・ニューヨーク証券取引所 ・ニューヨークの銀行
・ロンドンの銀行 ・ルクセンブルクの銀行
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

(2016年9月現在)

| | |
|--------------------------|---|
| ◆ご購入時手数料 | ご購入価額に3.24%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 なお、「マネープールファンド」へのスイッチングの場合は無手数料 *詳しくは販売会社にご確認ください。 |
| ◆運用管理費用(信託報酬) | 【各コース】 ファンドの純資産総額に年0.9504%(税抜年0.88%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 ○実質的にご負担いただく信託報酬率 ・各コース(通貨セレクトコースを除く):年1.6504%程度(税込) ・「通貨セレクトコース」:年1.8004%程度(注)(税込) (注) 純資産総額によっては、記載の信託報酬率を下回る場合があります。 *ファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。 【マネープールファンド】 ファンドの純資産総額に年0.594%(税抜年0.55%)以内(平成28年4月15日現在年0.001188%(税抜年0.0011%))の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 |
| ◆その他の費用 ・手数料 | 組入価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。 |
| ◆信託財産留保額(ご換金時、スイッチングを含む) | 【各コース】 1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額 【マネープールファンド】 ありません。 |

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

【ご留意事項】

- ・投資信託は金融機関の預金と異なり、元本は保証されていません。
- ・投資信託は預金保険の対象ではありません。
- ・登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号:野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会:一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資する場合は、為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

野村米国ハイ・イールド債券投信(通貨選択型)

お申込みは

| 金融商品取引業者等の名称 | | 登録番号 | 加入協会 | | | |
|--------------|----------|-----------------|---------|-----------------|-----------------|--------------------|
| | | | 日本証券業協会 | 一般社団法人日本投資顧問業協会 | 一般社団法人金融先物取引業協会 | 一般社団法人第二種金融商品取引業協会 |
| ごうぎん証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 中国財務局長(金商)第43号 | ○ | | | |
| とうほう証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 東北財務局長(金商)第36号 | ○ | | | |
| 野村証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第142号 | ○ | ○ | ○ | ○ |

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。

※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。